

# 『一人ひとりが輝いて!』

私たち、アドソル日進株式会社は、“技術と能力”を磨き、チームワークで総合力を発揮します。

『2003年情報サービス産業売上高ランキング  
(人材編)に上位ランクイン!!』

For Executive Decision Makers

## Computopia

月刊コンピュートピア

総力特集:  
**2003年情報サービス産業  
売上高ランキング**

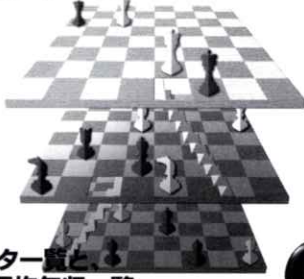
2003年売上高は対前年同月比5か月連続マイナス成長  
企業の選別・淘汰の時代に入った情報サービス産業を裏付ける結果に

〈Part1:業績編〉  
**情報サービス企業トップ130社の業績データを完全掲載!**

・売上高伸び率ランキング・営業利益率ランキング・ひとり当たり売上高ランキング  
・売上高対外注費ランキング・連結売上高ランキング・売上高成長率予想ランキングほか  
企業の業績データを詳細分析

〈Part2:人材編〉  
**IT関連資格の取得者数・取得率ランキング一挙公開!**

・システムアナリスト・プロジェクトマネージャ・情報セキュリティアドミニストレータ  
・ORACLE MASTER・SAP R/3認定コンサルタント・シスコ認定技術者  
・ITコーディネータ・Linux関連資格ほか 最新のIT資格36種を網羅



全170社の業績データ一覧と  
資格取得者数、採用/平均年収一覧

9

2003 SEPTEMBER

月刊コンピュートピア 2003年9月号より抜粋



**アドソル日進株式会社**

(旧日進ソフトウェア株式会社)

# 注目のセキュリティ資格が141%増 昨年本格スタートのIBM DB2資格は12倍 ITコーディネータは159%の伸び

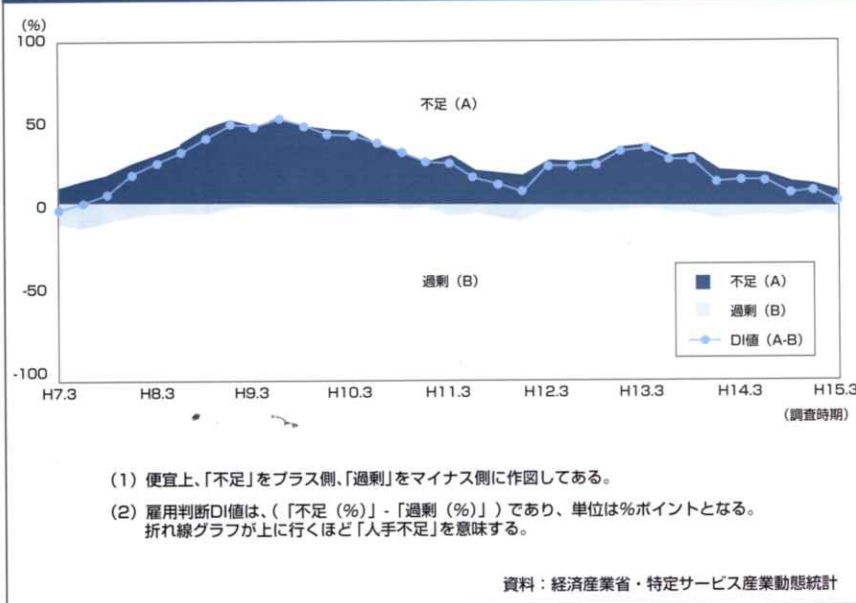
## 高度なITエンジニアの不足と求められる人材戦略

近年、情報サービス産業が提供するITサービスの高度化・多様化が進み、必要とされるIT人材像も変わってきた。従来のように高品質なソフトウェアを予定されたコストで期日までに開発することができるITスペシャリストに加えて、今日では、ソリューションビジネスに対応できる人材、システム構築のエンジニアリング化を推進できる人材、IT製品・技術の評価能力を有する人材などに対するニーズが高まっている。情報サービス企業にとっては、ITコンサルタント、プロジェクトマネジャー、ITスペシャリストなど、高度な職務を遂行できる人材の育成・確保が経営の最重要課題となっている。しかし、まだまだ高度なスキルを持ったITエンジニアは不足しているのが現状だ。

一方、情報サービス産業の人材の需給状況は、厳しくなる業績に伴い、「不足感」が減少し、「過剰感」が若干増加する傾向にある。特サビの雇用判断のDI値でも2003年に入ってから雇用判断では「不足感」が急速に減少している。同じく売上見通しも厳しいことから、今後の情報サービス産業の雇用動向に注目していく必要がある。(図表3-1)

このように雇用状況が不足から過剰

図表3-1 情報サービス業 雇用判断～従業員の充足感～



へと変わりつつある一方で、高度なIT人材の不足感はますます高まり、「IT人材のミスマッチ」が一層深刻化する傾向にある。

そこで、ITエンジニア育成のためのロードマップとして「ITスキル標準(ITSS)」が策定された。これは、ITエンジニアのスキル要件を職種やレベルに応じて規定・体系化したもので、企業にとって人材育成を戦略的に実践するためのツールとして期待されている。一方では、ITSSの普及により、ITエンジニアの評価を国際的な尺度で測れるようになり、外国人ITエンジニアの活用やソフトウェア開発の海外発注を推進するための環境整備が一層進むこと

にもなる。(図表3-2)

情報サービス企業が市場競争力を高めるためには、市場から求められる人材をどれだけ有するかが重要な要件になる。そのためには、各社の経営戦略にもとづくキャリアマネジメントにより、採用や能力開発、配属、評価、処遇をトータルにコントロールする人材戦略が重要になってきている。

では、売上高上位130社における人材(従業員)の状況について見ていく。





図表3-46 Sun Java認定資格取得者数ランキング

順位	会社名	取得者数(人)
1	CSK	422
2	インテック	215
3	日本電子計算	178
4	日本ユニシス	171
5	日立ソフトウェアエンジニアリング	163
6	NECシステムテクノロジー	163
7	NTTコムウェア	153
8	東芝ITソリューション	119
9	NECソフト	98
10	沖ソフトウェア	89
11	シーイーシー	87
12	SRA	76
13	日立システムアンドサービス	69
14	日立情報システムズ	55
15	富士ソフトABC	54
16	日本ユニシス・ソフトウェア	48
17	アドソル日進	42
18	日立INSソフトウェア	39
19	JIEC	33
20	キャノンソフトウェア	31

図表3-47 Sun Java認定資格取得率ランキング

順位	会社名	取得率(%)
1	日本電子計算	13.9
2	アドソル日進	11.0
3	CSK	8.9
4	沖ソフトウェア	8.1
5	インテック	8.0
6	SRA	6.0
7	シーイーシー	5.7
8	日立INSソフトウェア	5.3
9	日本ユニシス・ソフトウェア	5.2
10	NECシステムテクノロジー	4.7
11	キャノンソフトウェア	4.1
12	JIEC	4.0
13	日本ユニシス	3.8
14	安川情報システム	3.7
14	東芝ITソリューション	3.7
16	フィオシス・コンサルティング	3.3
17	日立ソフトウェアエンジニアリング	3.0
18	アドクリエーション	2.8
19	コベルコシステム	2.7
20	NTTコムウェア	2.6

図表3-48 IBM DB2グローバルマスター取得者数ランキング

順位	会社名	取得者数(人)
1	アドソル日進	130
2	TIS	126
3	情報技術開発	121
4	日本情報通信	116
5	キャノンシステムソリューションズ	98
6	日立ソフトウェアエンジニアリング	90
7	イー・アンド・アイシステム	54
8	JIEC	49
9	クロスキャット	30
10	NTTコムウェア	27
10	オージス総研	27
12	北海道ビジネスオートメーション	26
12	TDCソフトウェアエンジニアリング	26
14	データ通信システム	24
15	エヌアイティ	21
16	富士総合研究所	20
17	カテナ	18
17	エクサ	18
19	ソルネット	17
20	日本コンピューター・システム	16
20	北海道日本電気ソフトウェア	16

図表3-49 IBM DB2グローバルマスター取得率ランキング

順位	会社名	取得率(%)
1	アドソル日進	34.1
2	日本情報通信	14.6
3	イー・アンド・アイシステム	9.5
4	キャノンシステムソリューションズ	9.3
5	情報技術開発	8.6
6	クロスキャット	6.4
7	JIEC	5.9
8	ソルネット	5.7
9	TIS	5.2
10	北海道ビジネスオートメーション	3.8
11	科学情報システムズ	3.4
12	TDCソフトウェアエンジニアリング	2.8
13	北海道日本電気ソフトウェア	2.7
14	オージス総研	2.6
15	エヌアイティ	2.5
16	ビーエスアイ	2.0
17	日製ソフトウェア	1.8
17	日本コンピューター・システム	1.8
19	日立ソフトウェアエンジニアリング	1.7
20	カテナ	1.5

## Sun Java 認定資格

SunJava 認定資格取得者は、売上高上位100社の合計で2,615人であり、前年比95.0%増、取得率1.4%であった。

企業別には、CSKの422人をトップに以下、インテック215人、日本電子計算178人、日本ユニシス171人、日立ソフトウェアエンジニアリング163人、NECシステムテクノロジー163人の順。取得率では、日本電子計算13.9%、アドソル日進11.0%、CSK8.9%、沖ソフトウェア8.1%、インテック8.0%の順となった。(図表3-46,3-47)

## IBM/DB2 グローバルマスター

IBMのDB2グローバルマスターの取得者は、売上高上位100社の合計が836人で、全従業員における取得率は0.5%。この資格は、前年の取得者が100社でわずか70人しかいなかったことから、今回は10倍以上の増加になった。12倍増は数字のマジックにすぎないのか、それとも新しいトレンドにできるのか。今後この勢いを持続できるかどうかにかかっている。

企業別には、アドソル日進の130人をトップに以下、TIS126人、情報技術開発121人、日本情報通信116人、キャノンシステムソリューションズ98人の順。取得率では、アドソル日進34.1%、日本情報通信14.6%、イー・アンド・アイシステム9.5%、キャノンシステムソリューションズ9.3%、情報技術開発8.6%の順となった。(図表3-48,3-49)

## &lt;本ランキング調査の方法と概要&gt;

- 本調査の歴史:「情報サービス企業売上高ランキング」は1978年より毎年1回実施し、今年で26回目。
- 調査時期:2003年6月
- 調査方法:記入式のアンケート調査表を郵送またはメールにて発送。
- 調査対象:全国の情報サービス企業357社
- 有効回答:170社

図表3-31 マイクロソフト(MCP)取得率ランキング

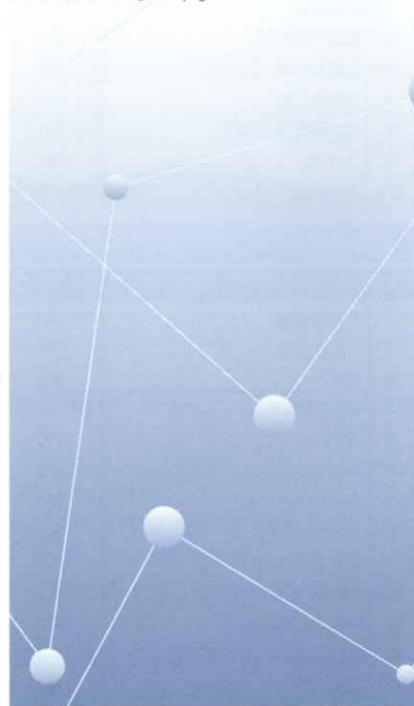
順位	会社名	取得率(%)
1	日立ソフトウェアエンジニアリング	55.7
2	住商情報システム	44.8
3	シーイーシー	44.4
4	コベルコシステム	43.4
5	日立情報システムズ	41.8
6	日立システムアンドサービス	35.4
7	北海道日本電気ソフトウェア	33.2
8	大塚商会	27.4
9	日立INSソフトウェア	24.6
10	日立ビジネスソリューション	22.8
11	日本電子計算	21.2
12	NECネクサソリューションズ	20.9
13	NECソフト	20.7
14	TIS	19.6
15	富士通ビジネスシステム	17.4
16	丸紅情報システムズ	17.0
17	富士通システムソリューションズ	16.7
18	郵船情報開発	15.6
19	ティージー情報ネットワーク	15.2
20	アドソル日進	14.2

図表3-35 ORACLE MASTER取得率ランキング

順位	会社名	取得率(%)
1	日本ユニシス・ソフトウェア	57.2
2	キューブシステム	55.9
3	日本電子計算	48.3
4	日立INSソフトウェア	46.7
5	日本ユニシス	41.8
6	アドソル日進	37.0
7	アドクリエーション	31.3
8	新日鉄ソリューションズ	30.4
9	オージス総研	30.2
10	CSK	26.9
11	NECソフト	26.0
12	北海道日本電気ソフトウェア	23.5
13	全日空システム企画	22.7
14	シーイーシー	22.1
15	日立システムアンドサービス	21.6
16	キャノンソフトウェア	21.4
17	ジーシーシー	20.9
18	ティージー情報ネットワーク	20.1
19	日本コンピュータ・ダイナミクス	20.0
20	TIS	19.9

との連動など組織をあげた取組がなければ達成できない実績だろう。何よりも経営トップの人を高付加価値人材へ育てる方針がなければならない。ここは、大いに評価できるポイントだ。

もしも、「良い情報サービス企業の条件は？」と問われたら、「資格取得の実績のあがっている会社です」と答えても決して間違っていない。情報サービス企業が厳しい経営環境の中で生き残っていくためには不可欠な方策のひとつであろう。



### 人材編まとめ

売上高ランキング人材編では、有力資格に対して戦略的に取り組んでいる企業の成果に注目したい。「不況期には資格取得が注目される」と言われているが、今がまさにその状況にあり、企業をはじめITエンジニア個人も自己の技術・知識レベルをアピールできる資格取得に関心を持っている。また、以前には資格取得と仕事の実績は別ものといった事例も多く見受けることも

あったが、今日の有力資格はビジネスや業務遂行に密接に関連するものが多いことも、従来より資格取得熱が高まっていることの背景にある。

企業の動向では、特に情報処理資格試験のシステムアナリスト、プロジェクトマネージャ、これに有力ベンダー認定資格を加え、前年度より飛躍的に取得者数を増やしている企業がある。この結果は、戦略的に人材育成をとらえ、研修体制の整備や個人への動機付け、インセンティブ制度の活用、評価

## アドソル日進株式会社

本社：〒108-0075 東京都港区港南4-1-8 リバージュ品川

TEL 03-5796-3131 FAX：03-5796-3265

関西支社：〒532-0003 大阪市淀川区宮原4-5-36 セントラル新大阪ビル

TEL 06-6350-3121 FAX 06-6350-3129

九州支社：〒812-0011 福岡市博多区博多駅前3-30-23 博多管絃ビル

TEL 092-431-3141 FAX 092-474-8039

URL <http://www.adniss.jp/>